

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 8 月 13 日(2024.8.13)

【公開番号】 特開 2024-87673(P2024-87673A)
【公開日】 令和 6 年 7 月 1 日(2024.7.1)
【年通号数】 公開公報(特許)2024-121
【出願番号】 特願 2022-202607(P2022-202607)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 8 月 2 日(2024.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値とに基づいて算出される所定値が特定
値に達したか否かを判定する判定手段と、

前記所定値が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不
能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

所定の可動体と、

を備え、

前記可動体は、電源供給後に所定の初期動作を実行しうるように構成されており、

前記遊技不能状態にあるなかで電源遮断され、その後に電源供給された場合には、該電
源供給の際に行われた管理者操作の態様に応じて、前記遊技不能状態に制御する場合と前
記遊技不能状態に制御しない場合とを有し、

電源供給後に前記遊技不能状態に制御される場合であっても、前記可動体の前記初期動
作を実行しうるものであり、

さらに、前記有利状態中に前記所定値が前記特定値に達したと判定された場合には、前
記有利状態の終了後に前記遊技不能状態に制御可能であって、

特定異常が発生した場合には、当該遊技機への電源供給により該特定異常が解消可能と
され、

前記有利状態中に前記所定値が前記特定値に達したと判定されてから前記遊技不能状態
に制御されるまでの間で前記特定異常が発生し、その後に電源遮断されて電源供給された
場合には、前記特定異常を解消しつつも前記有利状態を初期化せず、前記特定値に達した
と判定された後の前記有利状態に復帰可能であり、

さらに、遊技の進行状況に関連して発光可能な複数の特別 L E D を備え、前記複数の特
別 L E D は、前記遊技不能状態にあるなかでは全点灯または全消灯するように構成されて
なる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、遊技機の管理の適正化を図ることが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0007】

10

本発明は、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値とに基づいて算出される所定値が特定値に達したか否かを判定する判定手段と、

前記所定値が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能な遊技不能状態制御手段と、

20

所定の可動体と、
を備え、

前記可動体は、電源供給後に所定の初期動作を実行しうるように構成されており、
前記遊技不能状態にあるなかで電源遮断され、その後に電源供給された場合には、該電源供給の際に行われた管理者操作の態様に応じて、前記遊技不能状態に制御する場合と前記遊技不能状態に制御しない場合とを有し、

電源供給後に前記遊技不能状態に制御される場合であっても、前記可動体の前記初期動作を実行しうるものであり、

さらに、前記有利状態中に前記所定値が前記特定値に達したと判定された場合には、前記有利状態の終了後に前記遊技不能状態に制御可能であって、

30

特定異常が発生した場合には、当該遊技機への電源供給により該特定異常が解消可能とされ、

前記有利状態中に前記所定値が前記特定値に達したと判定されてから前記遊技不能状態に制御されるまでの間で前記特定異常が発生し、その後に電源遮断されて電源供給された場合には、前記特定異常を解消しつつも前記有利状態を初期化せず、前記特定値に達したと判定された後の前記有利状態に復帰可能であり、

さらに、遊技の進行状況に関連して発光可能な複数の特別LEDを備え、前記複数の特別LEDは、前記遊技不能状態にあるなかでは全点灯または全消灯するように構成される

ことを特徴とする。

40

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0009】

50

このように、本発明によれば、遊技機の管理の適正化を図ることが可能な遊技機を提供することができる。

10

20

30

40

50